

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	15	124560	災害用物資備蓄事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	2	自然災害対策の強化			
目的	災害用物資の備蓄					
対象	市民					
意図	計画的な備蓄により市民の安心・安全が確保される					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
避難所等で使用する災害用物資の備蓄・配備						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				事業協力・協定		
				委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	災害対応用毛布(圧縮ﾊﾟｯｸ)購入数	枚	計画	1,100	1,100	
			実績	1,300	900	
②	災害用食料(アルファ米)購入数	食	計画	3,000	3,000	
			実績	3,000	3,000	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	災害対応用毛布(圧縮ﾊﾟｯｸ)備蓄数	枚	目標	5,000	6,300	
			実績	6,500	5,073	
②	災害用食料(アルファ米)備蓄数	食	目標	15,000	24,336	
			実績	15,549	17,650	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
H25.7に災害用物資の備蓄計画を定め、計画的な備蓄に努めている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	災害発生時の避難所の初動に備え、市民の生命を守るため、最低限の備蓄が必要である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	災害用物資の備蓄計画に基づき計画的な備蓄を進めているが、保管場所の確保等により、より迅速な対応が可能となる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	現在の被害想定による被災者が、災害発生後、流通物資が確保されるまでの間に必要な物資を整備する必要があり、食料や水は保存年限があることから定期的に更新が必要である。また、契約事務等必要最小限の事務を行っており、人件費の削減余地は無い。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	大規模災害による避難勧告をした場合、避難所を開設するのは行政であり、食事や寝具を提供する必要があることから、受益と負担は公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
物資の備蓄計画の策定により、計画的な物資の備蓄を行う体制が整備されたが、災害時に、より迅速に対応できるためには、保管場所や運搬方法等についてさらに検討を要する。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	02	01	15	124560	災害用物資備蓄事業

単位：千円

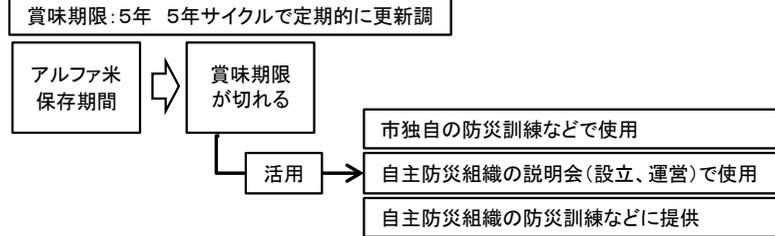
		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		4,547	6,878		2,331
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	50			△ 50
	一般財源	4,497	6,878		2,381

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部経営方針における目標				
-				
事業開始の背景・経緯				
全国的な地震災害や水害による災害対応の課題をふまえ、災害用物資の備蓄について検討を行い、災害時の応急活動ができるよう非常食や災害用トイレの整備を開始した。				
事業概要				
避難所等で使用する災害用物資の備蓄・配備				
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等				
物資の備蓄計画に基づく計画的な備蓄と保管場所の確保				

担当部署 部名 総合政策部 課名 防災危機管理課 担当係長 大和俊宏 内線 476 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○非常用食料の更新



●災害用備蓄物資等

備蓄物資・資機材	数量	単位	契約金額(円)	備考
アルファ米	3,000	食	625,428	ご飯2250食 お粥750食
粉ミルク	11,310	g	38,847	14缶 アレルギー対応品購入
5年保存水	3,000	ℓ	298,080	1.5ℓ入×2,000本
災害用毛布	900	枚	2,272,536	厚地毛布を圧縮毛布に更新
5年保存パン缶詰	50	箱	365,472	24缶入
携帯トイレ	1,600	個	190,080	
災害用トイレ(ラップボン)	7	台	1,828,448	
災害用トイレ(簡易トイレ)	11	台	270,864	
ワンタッチテント(トイレ専用)	13	台	238,680	
哺乳瓶	50	本	16,200	
生理用品	2,432	枚	28,892	
紙おむつ(大人用)	778	枚	69,426	
紙おむつ(乳幼児用)	1,140	枚	28,130	
トイレットペーパー	852	ロール	23,004	
ガソリン携行缶	27	缶	96,228	20ℓ入り
災害用ブルーシート	50	枚	103,193	
避難所用間仕切り	3	セット	66,096	
クイックパーテーション	3	セット	84,240	
避難所用コンテナ	3	台	89,100	
災害用ワンタッチテント	3	張	27,540	
発電機用ガソリン	422	ℓ	51,043	
防災携行缶用ガソリン	120	ℓ	13,867	
その他資機材			22,553	
事務用消耗品			11,016	
合 計			6,858,963	

・災害時食料運搬用アルファ米 18,792円